

2023年度 前期始業式奨励

聖書 ルカによる福音書10章27節（新約聖書126頁）

『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。

平和のきずな

今年、静岡英和女学院は136周年を迎えます。新緑の季節を迎え紫外線も強くなりますが、キラキラと輝く木漏れ日に包まれていると励まされます。

先週、入学式がありました。紫の中学1年生58名、オレンジの高校1年生93名が入学されました。また中学校2年、3年生には転入生もお迎えしました。どうぞ皆さん宜しくお願ひします。そして進級された皆さんもおめでとうございます。この一年も与えられた道を一日一日、大切に共に歩いていきましょう。後ほど新しくお迎えした先生方をご紹介します。

例年より少し長く、そして暖かなお天気にも恵まれた春休みでしたが、皆さんはどう過ごされたのでしょうか。昨年度末の生徒会広報誌『礎』、そして『本棚』『読書感想文入選作品集』などを読ませていただきました。英和らしいフレンドリーな様子が伝わり、また素晴らしい感想文も読ませていただき驚きました。英和生はまだまだ出来る、皆さんの可能性は無限大だと改めて感じました。どうか自信を持って進んで下さい。努力は皆さんを裏切らないし、自分のペースで諦め

ず少しずつ学びを重ねてください。

赤の高校三年生は四年ぶりに御殿場で宿泊を伴う修養会が実施できました。こぶし（花言葉は「友情」）の大木の白い花が満開で制服姿の英和生がとても映えていました。部活動の合宿や遠征、メイプルコンサートの練習、そして静岡まつりの夜桜乱舞も四年ぶりに参加し後輩に継承できて安心されたことでしょう。またメイプルプログラムで短期留学、海外研修から帰国した皆さんもいます。どうぞ皆さんの春休みの体験を一人ひとりに与えられた道で生かして下さい。

そして今年の豪雨で被災した高校3年生の教室に加え、家庭科調理室と被服室、茶室もリニューアルされました。LED照明でとても明るくなり、また茶室の新しい畳のいぐさの香りが廊下まで広がり、心を和ませてくれます。今後の学びと活動が楽しみです。

今年からLEDによる照明、ロッカーのリニューアル、トイレの改修も少しずつ進みます。また年度途中、夏休み明けとなる予定ですが、制靴に加えサブバックとしてリュックサックの導入もモニタリングを経て実施します。

ただ高校2年生のカナダスタディーツアーは現在長崎での平和教育に替えています。来年度についてもロシアのウクライナ侵攻の影響で燃料サーチャージの高騰、円安の影響などがあり、今後皆さんからの意見も伺いつつエージェントと相談して実施を検討していきます。

さて四月から三年ぶりに全体礼拝となります。ただ今後も感染症に気をつけながら、この一年も心身共に健康に留意して生活をしていきましょう。

昨年から高校学習指導改訂に伴いカリキュラムが変わり、観点別評価となりました。それに合わせて定期試験を廃止して小テストと単元テストとなりました。これは皆さんが自主

的に学びと向き合い、主体的に他者や社会に関心を寄せて一人ひとりの進路へとつなげるためです。自学自習する人に、生涯学び続ける人となってほしいためです。そのために読解力、文章力を向上させるため朝読書も始めました。

そして今年は中学一年生から学校でタブレットなどデバイスを用いて自ら学ぶ環境をさらに整え向上します。従来の学校支援システムのブレンドを用いて心身の健康管理、また教室の後ろの黒板に過度な宿題が重ならないように可視化できるように復活させています。そして教員、生徒、保護者の誰もが確認できるようにします。また自らの学習状態を把握できる学習アプリ、総合学習の映像などの資料も準備しています。従来のロイロノートに加え授業などはもちろん、自学自習する皆さんに積極的に活用してほしいと思います。

さて今年「平和のきずな」というテーマで聖書に耳を傾け、共に祈り、学校生活を送ります。聖書は『エフェソの信徒への手紙』4章2節後半から3節（新約聖書356頁）です。

愛をもって互いに忍耐し、
平和のきずなで結ばれて、
霊による一致を保つように努めなさい

忍耐とは「信頼し、諦めないこと」です。聖書は、あなたは選ばれ愛されている大切な存在だと伝えています。だから諦めることなく努力を続けましょう。

平和のきずなとは「感謝を献げること」です。どんな時にも共に感謝を献げること、礼拝、祈りの時に何を教えられ、与えられているのかを祈り求めましょう。

霊による一致とは「励まし合うこと」です。あなたの平和とあなたの隣人の平和はつながっています。だから励まし合って共に歩みましょう。

三年前の新型コロナウイルスによるパンデミック、昨年からのロシアのウクライナ侵攻、そして豪雨や干ばつなど異常気象に見られる地球温暖化と、平和とは戦争がないことだけでなく私たちの当たり前前の日常生活、一日一日の尊さだと改めて教えてくれました。

私たちの日常生活が一瞬のうちに止まり、文明も文化遺産も戦禍によって、災害によって脆くも崩れ去ることを知りました。そして人間の営みの儂さも知りました。でも自然の営みは悠久の流れのように繰り返し、一つとして同じ流れはなく、私たちはそれを表現することも、それを止めることも、予想することも、想定することさえできないのです。

でも聖書の語る「平和のきずな」はそんな弱く、脆く、儂いわたしたちは、互いに愛し合うように造られ、共に平和のきずなで結ばれるように造られていると伝えています。

英和生が自ら学び、共に学び、平和な未来を描き、平和な未来をめざし、平和な未来につなげる学校生活を送りましょう。身近な家族、友だち、静岡の、日本の、そして世界の平和な未来の課題に興味関心を持ちましょう。そして、その課題の解決に向かって共に学び、自分のミッション（使命）を抱ける一年としましょう。

祈りましょう

知恵の源である主よ、わたしたちはただ主の賜物によってまことの知恵を得ることができます。どうかみ名によって建てられた静岡英和女学院に恵みを下し、教える者と学ぶ者を祝福してともに知識を深め、主の真理を悟り、謙遜な心をもって唯一の神を仰ぐことができるようにしてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン